

令和2年度 建設部 施策展開方針 計画書

1. まちづくり政策(建設部関係分)

政策 04	<b>政策展開の方向性</b>							
	安全・安心	交通安全や防犯活動の推進、生活衛生環境や冬期生活環境の充実などを通じて安全で快適な社会環境を築いていくとともに、地域防災力の向上や消防・救急体制の充実を図ることにより、災害に強く、だれもが末永く安心して暮らせるまちづくりを進めます。						
		<b>令和2年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）</b>						
		04-01 安全な暮らしの確保						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家等の発生抑制及び危険空き家への対応等により、安全で安心な生活環境の確保に努めます。令和2年度は、空家等対策計画に基づき、所有者等の管理意識の醸成と関係団体との連携による発生抑制及び利活用の推進を図るとともに、所有者等への情報発信や相談への対応、特定空家等の除却・解体支援、助言・指導等により管理不全な空き家の解消に努めます。</li> </ul>							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H28年度	H29年度	H30年度	目標
	安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合		%	78.2	83.1	81.9	83.1	↗
	災害対策が充実し安心と思う市民割合		%	52.1	56.3	55.9	56.2	↗
	消防・救急活動に満足している市民割合		%	89.5	93.2	93.5	92.9	↗
	建設部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「空家等対策推進事業」 管理不全な空き家の解消件数		件	-	-	-	14	↗	
政策 05	<b>政策展開の方向性</b>							
	都市 基盤	市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。 駅を中心としたぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して過ごすことのできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。						
		<b>令和2年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）</b>						
		05-01 市街地整備の推進						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営住宅整備の推進では、市営住宅長寿命化計画に基づく新築団地の建替を進めており、E棟(49戸)の建設に着手します。</li> <li>・国、道、市策定の「住生活基本計画」等を踏まえ、次期「江別市営住宅長寿命化計画」を見直し策定します。</li> </ul>							
	05-02 交通環境の充実							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で快適な道路環境づくりでは、未整備の都市計画道路や拡幅などが必要な幹線道路等の整備に取り組み、利用者が安心して通行できる道路環境づくりを進めます。令和2年度は、幹線道路等の整備に向けた設計、工事、用地取得及び物件補償などを行います。</li> <li>・冬期間の交通の確保では、市民協働による雪対策の充実と、除排雪の安定的継続に向けた取組を進めます。令和2年度においても、市民・事業者・市による三者懇談会を継続するなど、市民ニーズを把握しながら、除排雪事業を推進します。</li> </ul>							

政策の成果指標	単位	(初期値)	H28年度	H29年度	H30年度	目標
市街地整備に満足している市民割合(公園、バリアフリー化、上下水道等)	%	76.7	79.1	80.2	80.0	↗
交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)	%	57.9	65.9	64.4	63.6	↗
建設部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「新栄団地建替事業」 建替戸数	戸	48	96	144	144	↗

## 2. えべつ未来戦略(建設部関係分)

戦 略	■具体的施策 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	
戦 略 2 安心して子どもを産み育てることができる まちづくり	
戦 略 3 子どもから大人までいきいきと 健康に暮らせるまちづくり	

## 3. 建設部の資源

		実績			予算額	
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	4,199,635	5,250,913	5,463,515	5,332,650	4,307,282
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	4,199,635	5,250,913	5,463,515	5,332,650	4,307,282
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	74	73	73	73	72
	平均単価 (b)	7,670	7,618	7,627	7,775	7,741
	人件費 (a×b)	567,580	556,114	556,771	567,575	557,352
総 額		4,767,215	5,807,027	6,020,286	5,900,225	4,864,634